

# 総務企画常任委員会活動報告

当委員会では、10月31日、11月1日の2日間にわたり、福島県会津若松市及び山形県米沢市の視察研修を行いました。

JR烏山線100周年を迎えた令和5年、東日本旅客鉄道株式会社では赤字路線の収支を昨年度より公表しています。本委員会でも危機感を持ち同様の赤字路線であるJR只見線の運行視察を計画致しました。JR只見線は平成23年の新潟・福島豪雨により被災し、鉄道の運行と鉄道施設の維持管理を別の組織が担う上下分離方式により、令和4年に運転が再開されました。現在、会津川口駅から只見駅までは、福島県が沿線市町村と協力して線路の維持管理等を担っています。

山形県米沢市は、米沢藩主上杉鷹山の精神を受け継ぎ、人口減少や少子高齢化が進んでも市民の誰もが暮らしやすく持続可能な社会を実現させるため、市民や企業等と連携し、産業振興、健康長寿の推進、ゼロカーボンシティの実現、産学官連携、人財育成を通して、SDGsの推進に取り組んでいます。上杉鷹山公は、江戸時代中期の大名。出羽国米沢藩9代藩主。米沢藩政改革を行った江戸時代の名君として知られる。これからも調査研究を続け、市政の発展に寄与していきたいと考えています。

総務企画常任委員会 委員長 滝口貴史



山形県米沢市の取組について説明を受ける委員